



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

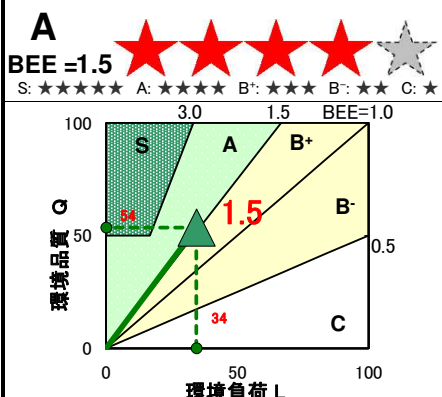
1-1 建物概要

建物名称	大阪市西区靱本町PJ
建設地	西区靱本町1丁目
建築用途	共同住宅、教会、寄宿舎
建築主	関電不動産開発(株)
設計者	(株)徳岡設計
敷地面積	1,187.38 m ²
建築面積	924.95 m ²
延床面積	9,542.15 m ²
構造/階数	RC造 / 地上18階
完了年(予定)	2024年1月

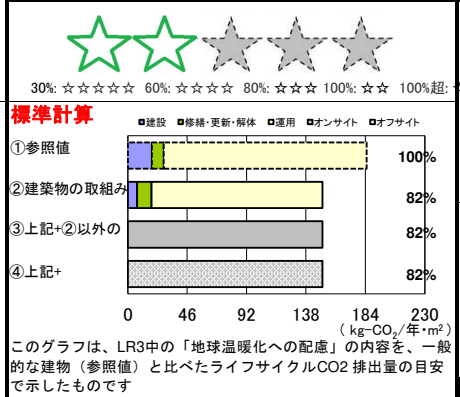
1-2 外観



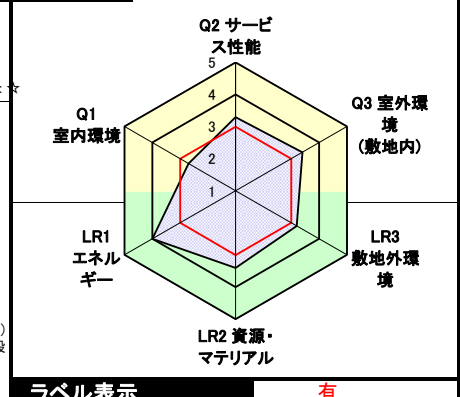
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

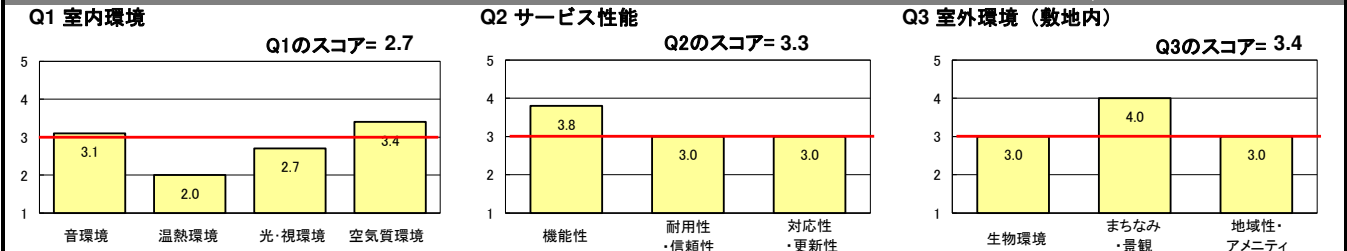


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

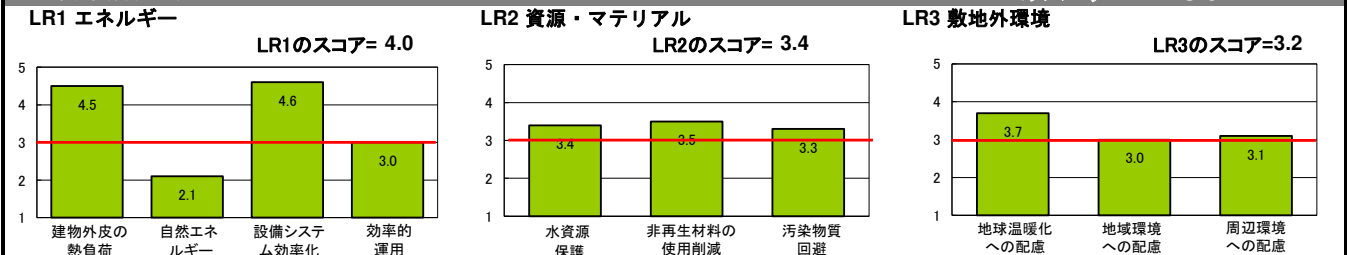


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合 敷地や建物の植栽条件に応じた緑地づくりを行い、環境に配慮している。 高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。		その他 特になし
Q1 室内環境 外皮性能として、住居部分は強化外皮基準を満たす計画とし、省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー 住宅部分は一次エネルギー削減率を20%以上とし、ZE-HM Orientedを満たしている。	LR2 資源・マテリアル 高強度せん断補強筋・ボイドスラブの採用により材料使用量の削減に努めた。また、リサイクル材料を2品目採用した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制している。適切な量の駐輪場を設置して交通負荷抑制に努めた。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.7
配慮事項	ライフサイクルCO ₂ 排出率低減に努めた

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 3.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.5
配慮事項	住宅部分において強化外皮基準を満たす性能とし、外皮の熱不可抑制に努めた。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 4.6
配慮事項	住宅部分においてZEH-Orientedを満たす性能とし、建築物の省エネルギーに努めた。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能 住宅部分(品確法等級) 等級4を超える(相当) 非住宅部分[BPI][BEIm] 1.00

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEIm] - 住宅部分[BEI] 0.76 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.94